

パンフレット配布にご協力して下さる皆様へ

はじめまして。先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症「トーチの会」と申します。
妊娠中にトキソプラズマやサイトメガロウイルスに感染し、子どもに障がいが出てしまった母親たちが、
これ以上悲しい思いをする母子を増やしたくないという思いで、2012年9月に立ち上げた患者会です。

数ある母子感染症の中でも、先天性トキソプラズマ症と先天性サイトメガロウイルス感染症は、近年、
日本でも患者数が増えてきています。

しかし、残念ながらその危険性に気付いている人は、医師・妊婦共に決して多くありません。

これらの先天性感染児は、重大な聴力障害や視力障害、発達障害が、生まれた後も進行していくことが
ありますが、通常の診察だけでは異常に気付けない症例が多いため見落としも多く、
『非常に稀な』『珍しい』病気と認識されています。

日本の産科では、まだ妊婦に抗体検査を奨める医療機関は少ないです。

また、抗体検査の普及にはそれを裏付けるための研究や態勢の整備などが必要で、時間とお金がかかります。
治療方法もまだ確立されておらず、現患者は治療するにも経済的な負担が大きい現状です。

そこで患者会では、「今すぐにはできる対策」として、「妊婦教育」をすることで、妊娠中の感染をできる
だけ防ぎたいと考えました。そして、感染予防のための知識をたくさんの妊婦にひろめていくために、
この度、長崎大学病院小児科学教室教授の森内浩幸先生、三井記念病院産婦人科部長の小島俊行先生に
監修をお願いし、パンフレットを作成いたしました。

ここには、最低限の内容しか書かれていませんが、詳細は患者会のホームページで説明していますので、
そちらに目を通すように妊婦さんに奨めていただけたらと思います。

<http://toxocmv.org> (パンフレットにも URL は記載されています)

ぜひこのパンフレットを周りの妊婦さんやその家族、妊娠を希望する女性たちに配布してください。

また、現患児を正しく理解してもらうためにも、乳幼児と接する職業の方にも知っていただけたらと思
います。

今回お届けしましたパンフレットを見ていただき、今後も母子感染予防啓発のために、パンフレット配
布にご協力いただける場合は、再度トーチの会 HP (<http://toxocmv.org/buy/>) よりご購入のお申し込
みをお願いいたします。1枚6円(税抜・送料別)でお承りいたします。枚数をご相談ください。

先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」 代表 渡邊智美

患者会ホームページ <http://toxocmv.org/> info@toxocmv.org

2016.07 版